

## 新年の肥料農薬のご注文はお済ですか!?

経済課

肥料・農薬の適正使用を説明するため「肥料・農薬レベルアップ研修会」を開催し、生産者ら約70名が参加して次年度へ向けた栽培技術や施肥管理に理解を深めました。

低温・高温障害への対応策や除草剤の散布時期などについて、JA営農指導員や県山本地域振興局農業振興普及課、メーカー担当者が、各時限でそれぞれの課題について講義しました。

2日間で7時限に分けて行われた研修では、ecoらいす対応の稲作技術や病害虫の発生状況と次年度への対策、除草剤の効果的な使用方法などの説明に、参加者らは熱心にメモを取りながら各講師の話に耳を傾けていました。



各講師の説明を熱心に聞き入る参加者



強盗犯の要求に対応する大塚のしろ東支店長

## 非常時対応!共通認識図る!!

のしろ東支店、人事・審査課

のしろ東支店を対象に防犯研修会を行い、能代警察署の協力で警察官が犯人に扮した実戦形式での強盗模擬訓練で、非常時対応について共通認識を図り、防犯意識を高めました。

窓口担当者に凶器を突き付けた強盗犯の要求に、職員は緊急時のマニュアルに従い落ち着いて対応しました。

大塚のしろ東支店長は「強盗犯は、現場を下見に来ると聞いた。普段から僅かな変化を見逃さないで、職員間で共通認識を持ち防犯意識を常に持ち続けたい。」と話しました。

当組合では来店者が安心して利用できる店舗を目指し、定期的な訓練で防犯体制を強化していきます。

## 安心安全!あきた白神産をPR

菌茸部会、藤里営農センター

菌茸部会（加藤博正部会長）は生椎茸目揃会及び、舞茸実績検討会が開催されました。

参加者からは、中国からの輸入植菌済み菌床で生産された椎茸が、菌床には国籍がないことから「国産」として市場へ大量に流通し単価下落の起因となっていることを不安視する声が上がリ、担当職員からは「現在、純国産茸であることを示すステッカーを製作中で、順次、部会員の皆さんに配布し活用頂くことで差別化を図る」ことを説明しました。

加藤部会長は「単価下落は生産者の士気をも下落させてしまう。部会をあげて良品出荷を心がけて、単価の維持・向上に努めたい。」と話してくれました。



純国産を示すため新デザインとなる商品ステッカー



「白神ねぎのん」と一緒にPRしてきました。

## これからも行政と一体となり知名度向上を図ります!!

ねぎ部会、白神ねぎ20億販売達成プロジェクト

「矢切ネギ」の産地である千葉県松戸市を会場に、「下仁田ネギ」や「深谷ネギ」「九条ネギ」といった名だたる23の産地が集結して「ねぎ」の魅力をアピールし、消費拡大につなげようと、「全国ねぎサミット2019 inまつど」が11月23日から、2日間開催されました。

我々が「白神ねぎ」も参加し、誕生したばかりの白神ねぎのマスコットキャラクター「白神ねぎのん」とともにステージに登壇した大塚ねぎ部会長は、全国の産地、来場者に向けて白神ねぎのすばらしさを思う存分PRしました。

出典ブースでは「白神ねぎラー油」などの加工品も販売し「白神ねぎ」の知名度向上を図って来ました。